



静岡県教育委員会
教育広報紙

自立し、互に関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

平成24年(2012年)
10月22日
月曜日
第102号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail: kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

県教育委員の任命

県教育委員会委員は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、知事が議会の同意を得て、任命します。
静岡県では6人の委員のうち、10月11日の静岡県議会で加藤文夫委員、溝口紀子委員が再任されました。任期は平成24年10月19日から平成28年10月18日までです。



加藤文夫委員



溝口紀子委員

さらに、青少年の健全な育成を阻害する恐れのある違法・有害な情報の氾濫も懸念されています。

「啓発リーフレット作成」「フィルタリング」地域づくり「若者の自立支援」など、その年ごとに重点項目を設けて作成

また、いじめによる子どもの自殺、少年による重大な事件も、他人事とはいえない大きな社会問題となっています。

県は、強調月間中、市町や自治会を連携して「子ども・若者育成支援」の機運を盛り上げていくため、様々な事業を行います。

我が国では、急速な少子化の進行や就業形態の多様化、情報化社会の進展等により、青少年を取り巻く環境が大きく変化しています。このような状況の下、フリーターやニートと呼ばれる若者の数が高水準で推移するなど、若者の社会的自立の遅れが深刻化しています。

「子ども・若者育成支援推進法」に基づき、関連する施策を確実に推進するため、国では11月を「子ども・若者育成支援強調月間」と定めています。

子ども・若者育成支援の取組

子ども・若者育成支援の取組は、市町において

市町の取組

子ども・若者育成支援の取組は、市町において

子ども・若者育成支援の取組は、市町において

子ども・若者育成支援の取組は、市町において



もの思考力と意欲を伸ばし、自立を支える取組をされている高濱正伸さんを迎え、講演をしていただきます。

啓発リーフレットを、県や市町の事業の中で県民に配布し、活用を図ります。

県では11月17日(土)のJリーグ公式戦の開催にあわせ、ヤマハスタジアムでキャンペーンを実施します。来場者に対して啓発グッズを配布するほか、ハーフタイムには電光掲示板で観客に「強調月間」をアピールします。

子ども・若者育成支援強調月間県大会の開催

11月9日(金)、三島市で、子ども・若者の支援に関わる団体の皆様が一堂に会し、県大会を行います。大会では、強調月間の重点項目に関連した講演や意見交換を行います。

子ども・若者育成支援強調月間県大会の様子



子ども・若者育成支援強調月間県大会の様子

子ども・若者育成支援強調月間県大会の様子

子ども・若者育成支援強調月間県大会の様子

子ども・若者育成支援強調月間県大会の様子

子ども・若者育成支援強調月間県大会の様子

子ども・若者育成支援強調月間県大会の様子

子ども・若者育成支援強調月間県大会の様子

子ども・若者育成支援強調月間県大会の様子

シリーズ発達障害vol.2 発達障害といじめ

いじめに関するニュースが連日のように取り上げられています。報道に触れるたび、胸を痛めている方も多くはないでしょうか。どのような子どもでも、いじめに巻き込まれる可能性があります。発達障害の子どもたちにとっても、大きな問題です。

いじめと障害特性
発達障害の子どもたちが持つそれぞれの特性は、大きな強みとなる反面、いじめやからかいのターゲットとなってしまうことも少なくないのが現状です。発達障害の子どもたちは、他者の感情や意図を推測することが得意ではありません。親しみをこめて肩を軽く叩かれたとしても、「叩かれた」と被害的に捉えて辛い思いをしたり、反対に、嫌味や皮肉に長い間気付かずにいたけれど、社会性が成熟してきた時に、初めてその悪意に気が付き、深く傷つくこともあります。
さらに、コミュニケーションの苦しさから、ひどいいじめを受けていても、大人にうまく報告できずに、一人で抱え込みやすい特徴があります。

基本的な考え方
こういった事情から、発達障害の子どもたちが関係するいじめに対応するには、子ども自身がどう感じたのかに耳を傾け、本人の理解の仕方を把握することが大切です。その上で、必要に応じて、事実の整理や、一般的な考え方の提供をしたり、対処方法を教えたりすることもあります。
そして、もう一つ重要なことは、いじめ対応として、いじめられている発達障害の子どもたちの行動や考え方を修正しようと思わないということです。身長が低いことをからかわれている子どもに対し、「身長の低いあなたが悪い」と考える大人はいません。
ところが、発達障害の子どもたちは、周囲の大人から、考え方を改めるように言われたり、「あなたの態度が悪い」と非難されたりしてしまうこともあります。

大人が示すべき姿勢
いじめられている側が努力をして変わらなければいけないという考え方は、いじめられている子どもたちを追い詰めることにつながります。どんな状況でも、いじめられる側が悪いのだという一貫した姿勢を大人が示すことが、いじめ対応の大原則です。

【静岡県発達障害者支援センター】

進化するケータイと情報モラル教育

スマートフォン(スマホ)の所有率上昇
リクルート進学総研による「高校生価値意識調査2012」では、高校生のスマホの所有率は39.2%となり、昨年の14.9%から2.6倍に急増しているという結果が出ました。今後も急速な普及とともに所有の低年齢化が予想されます。

「SNS」アプリが人気
中高生に人気のアプリの中には、TwitterやFacebook、GREE等のコミュニティサイト「SNS」(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を利用するものがあります。SNSでは、友達同士や心構えを身に付けさせる教育である」と記述されています。スマホでは手軽に操作できるため、これらSNSの利用者が増えています。

危険に遭遇する機会も増加
一方、それに伴い子どもたちがトラブルに巻き込まれるケースも増えています。警察庁によると、コミュニティサイトが起因となり、子どもたちが犯罪被害に遭った事例が、平成23年に1421件起きています。例えば、サイト上にはプロフィールの写真や年齢を詐称した登録者がいます。女子中高生が、そのような人と友達になり、コミュニケーション等を通して交流を深めていく中で、実際に会ってしまいトラブルに巻き込まれるというケースがあります。
その他にも、安易な個人情報(写真や学校名等)の書き込みが事件に発展することもあります。

子どもたちをトラブルから守るために
平成22年10月、文部科学省から出された「教育の情報化に関する手引き」には、「情報モラル教育」とは、情報化の「影」の部分を理解することが求められるのではなく、(中略)情報手段をいかに上手に賢く使っていくか、そのための判断力や心構えを身に付けさせる教育である」と記述されています。
子どもたちが、今後も進展し続ける情報社会を生き抜くためには、ケータイやインターネットの上手な使い方を身に付けることが必要です。
具体的には、子どもたちを指導する際に、以下の点に注意しましょう。
①電話やメール・SNS等のコミュニケーションツールによるメリットとデメリットを理解させる。
②インターネットの向こう側には世界中の人がいることを意識させる。
③ネット上で知り合った面識のない人とは安易に会うことがないよう指導する、などです。

便利な道具として使い続けるために
今後もケータイ(携帯電話)は進化を続け、便利な道具となっていきます。反面、使い方を間違えると危険な道具へと暗転してしまいます。ケータイを便利な道具として使い続けるためには、保護者や教師が、子どもたちのケータイやネットとの付き合い方に関心を持ち、子どもたちと真剣に向き合っていくことが大切です。

【総合教育センター総務企画課情報管理班】

進化するケータイを、便利な道具として使おう!

「地域作業学習」での 職業教育の実践

県立袋井特別支援学校
袋井見付分校 副校長 渡邊昇司

開校3年目。全学年がそろいました

本校は、平成22年に開校の県立高等学校内に設置された5校目の特別支援学校高等部分校です。開校3年目を迎えた今年、幼稚園舎を改築して活用しようやく全学年がそろい、校内にも活気が出てきました。

企業への就職を目指す

設置目的は県立袋井特別支援学校の狭域化を解消すること、比較的軽度の知的障害の生徒を対象に職業教育の充実を図ること、県立磐田北高等学校をはじめとした地域の学校や諸団体等との共生・共育を推進することの3つです。

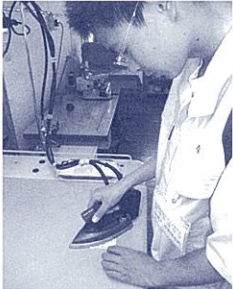
学部は高等部のみで、現在は磐田市・掛川市・



昼食用お弁当作り補助(株式会社いわきゅう)



老人ホーム介護補助(楽寿荘)



縫製補助作業(キンバラ株式会社)

等との連携を密接に図りながら作業学習等の授業を展開しています。

実践的な学習が何よりも有効であるため、校内での作業学習はもとより企業等で一定期間行う実習(二産業現場等における実習)や週に1回地域の企業等に外出しての現場実習等、実践的な取組を行っています。

就職を目指す高等部の授業は作業学習を中心に構成されますが、本校ではその作業学習を①革工芸製品・縫製製品・農園芸作物の生産を行う「自主生産作業学習」、②地域の企業から資材を借り受けて校内で行う「委託作業学習」、③地域の企業等に週に1回直接生徒が向かい行ける「地域作業学習」の3種類に分類し、生徒ができるだけ多くの職種や作業種を体験できるように配慮して行っています。

生徒たちは、各事業所でビルメンテナンスや介護補助、包装用の箱作り、食材のバック詰め、縫製作業補助等様々な仕事をしています。この地域では学ぶことができないことを体験することが可能となりました。在学中に生徒が適しているのかを慎重に見極める必要があります。地域の企業や事業所との連携をさらに深め、より実践的な実習を重ねて卒業後の就職につなげて行きたいと考えています。

学びに生かす地域作業学習

特に「地域作業学習」については、静岡県中遠総合庁舎(警備等業務受託業者中部ビル保養株式会社)、株式会社遠鉄ストア磐田店、磐田市老人ホーム楽寿荘、キンバラ株式会社、有限会社又一庵、静岡県農林技術研究所、株式会社いわきゅう、株式会社磐田(指定管理者 東海ビル管理株式会社)の8つの企業・事業所の協力を得て各現場で実際の業務に週1回、1・2年生が従事させていただいています。

一人一人が輝き 支え合う学級活動

熱海市立第二小学校 教諭 鈴木美幸



学級活動の風景(筆者中央)

活動ならではの手法で、人間関係を築く力を育てたいと考えました。

人間関係を築く力を学級活動で育てる

「人間関係を築くスキルアップ」「学級活動の充実」の両面を計画的に仕組むことで、子どもたちは、集団活動の楽しさや良さに気付きます。

伝える・受けとめ・やってみる

周りからの温かい声や共通の感動体験で、心にエネルギーが十分に与えられると、「優しさが生まれます」「集団の力が高まります」「自主性が育ちます」。

私は優しさや自主性のある学級を目指すため、まず、「人間関係づくりプログラム」で学級の状況を把握しました。その結果、私の担当する学級にはよい人間関係の築き方が分らない、自分に自信が持てないといった子どもが多かったです。

そこで自分の言葉で伝え、受けとめ、力を合わせて取り組むという学級



パチパチカードの花束で表彰し合う



パチパチカードの作成

言葉でつなげる

「クラスの自慢はやる」と決めたらやることになり、子どもが言うようになり、学級活動を通して、みんなで話し合うと問題が解決でき、目標を実現するには学級の仲間が必要だと気付いたのだと思います。反面「話す・聞く」技術を鍛えることは、緊急の課題だと感じました。

そこで今学期は、「話す・聞く」指導を強化していきます。まず、「話す・聞く」についての学級での約束を確認しました。また、スキルアップのため、振り返りの時間を確保し、のトレーニングも行っています。さらに、一人一人が積極的に参加できるよう、付箋を用いた少数グループの話し合いにも挑戦しています。この方法は、話し合いが「目に見える」という良さがあります。

人と人の本気であつかり合う関わりを通して、集団での生き方を学ばせるといふ強い意志が学級活動を通して、「ありがとう」の言葉で子どもを評価したいものです。



話し合いの内容

ふれあい交流体験事業
焼津青少年の家まつり
「フェスタ石津浜」
11月18日(日)
午前10時～午後3時

焼津青少年の家は、地域のみなさんとの連携・協力のもと、みなさんが集う青少年の家を目指しています。地域のみなさんが主役のお祭り、「フェスタ石津浜」にぜひお出掛けください。

イベント盛りだくさんでお待ちしています。
・保育園や幼稚園、小学校、クラブなど様々な団体による自慢のステージ発表や展示作品発表
・七宝焼き、コップブラン、切り絵、ロープワークなどの活動プログラム体験
・スパーボールすくいや綿菓子、輪投げ、ストラックアウトなどのお祭りコーナー
・やさそば、おでん、たこ焼きなど、安くて美味しい売店コーナー



みんなで手拍子パン、パン、パン

焼津青少年の家
054(624)4675

根っこを作る幼稚園教育



遊びひたる

「タッチしたよ」「さわらないもん」押し問答が始まりました。屋下がりやの園庭で、4歳児が鬼ごっこをしています。頭は隠してもお尻は丸見え。それでも息を潜めている子どももいます。

遊びひたる

「遊びひたる」子どもたち。その遊びの中から、子どもたちは、身近な環境(ひと・もの・こと)に興味や関心を持って働きかけ、夢中になって遊ぶ中で、工夫することや仲間と協力すること、人に優しくすること、ルールを守ることを体験的・

感覚的に学んでいきます。す。そうすることで、子どもたちはより安心して、より深く遊びに没頭できるのです。

遊びの質を高める

「やってみよう」「おもしろそう」「そんな子も私たちの思いは、遊びの原動力です。それを大事に、遊びひたるの質を高めるには、確かな子ども理解と適切な援助が欠かせません。」

遊びひたる

教師は、温かい眼差しで、子どもの声にしっかりと耳を傾けながら、子どもの感情や思考を読み取り、一人一人へ働きかけます。遊具や用具を準備したり、活動する時間や空間を変えたり、仲間と遊びとつなげたりしていくのです。

遊びひたる

教師の質II教育の質

過日、園の中核となる、県下約370人の先生方が参加する協議会を開催しました。

そこでは「育つ心を信じているか」「しつけられた優しさは、本物の優しさとなりえるのか」「思いを持って関わるか」「思いを押し付けすぎではないか」など、白熱した議論が展開され、子どもの捉え方を広げたり、日々の活動を見直したりという場になりました。

遊びひたる

何より子どもの幸せを

今日、学びの基礎の育成や子育て支援など、幼稚園にかかる期待は、一層大きなものとなっています。大切なことですが、簡単なことではありません。しかし、幼稚園の先生方は、期待を力に換え、子どもたちの心を絶やさぬよう日々の教育活動に打ち込んでいます。子どもの健全な成長と幸せを願いながら、

遊びひたる

子どもの心は戻ってくる

「思春期で一度は子どもが親から離れますが、心はいずれ必ず親の元に戻ってきます。だから、小さい頃からいっしょに愛情を注いであげてください。」

これは、家庭教育支援検討委員会の委員である県立大学短期大学部教授の漁田俊子先生が、PTA対象の家庭教育講演会で語り掛けた言葉です。

家族が触れ合い、一緒に時間を過ごすことで、子どもは愛情を感じてすくすく育ちます。家族と一緒にいる時間をできるだけたくさん取りたいものです。

遊びひたる

普段の生活が大切

地域のイベントや行事に家族で参加するのも楽しいですが、特別なことをしなくても、普段の生活の中に、家族の絆を深める機会はいくらでもあります。

こんな時間を過ごしてみたいかがでしょうか。

家族みんなで会話をしながら食事をしたり、近所を散歩しながら、体力づくりをしたりする。あるいは、家族みんなで協力して食事を作る。近くの公園や広場に行き、一緒に遊具で遊んだり、スポーツをしたりして、さわやかな汗を流すのもいいでしょう。

強調月間では、いつもはできないこと、できていてもなかなか時間がかけられないことに、家族の絆を意識して取り組んでみてはいかがでしょうか。一緒に過ごした時間は、この先ずっと、大切な思い出として残っていくはずですよ。

遊びひたる

月に一度は「家庭の日」!

県では、月に1回以上、家族で「家庭の日」を設けることを呼び掛けています。「家庭の日」とは、家族と一緒に過ごし、絆を深めるための日のことです。強調月間に限らず、それぞれの御家庭に合った「家庭の日」を自由に考え、過ごし方を工夫してみてください。

遊びひたる

三つ子の魂100まで

県教育委員会は、教育要領や「静岡県幼児教育振興アクションプログラム」に沿って、人間形成の基礎を培う幼児教育の充実を目指しています。

遊びひたる

教師の質II教育の質

そこでは「育つ心を信じているか」「しつけられた優しさは、本物の優しさとなりえるのか」「思いを持って関わるか」「思いを押し付けすぎではないか」など、白熱した議論が展開され、子どもの捉え方を広げたり、日々の活動を見直したりという場になりました。

遊びひたる

何より子どもの幸せを

今日、学びの基礎の育成や子育て支援など、幼稚園にかかる期待は、一層大きなものとなっています。大切なことですが、簡単なことではありません。しかし、幼稚園の先生方は、期待を力に換え、子どもたちの心を絶やさぬよう日々の教育活動に打ち込んでいます。子どもの健全な成長と幸せを願いながら、

遊びひたる

子どもの心は戻ってくる

「思春期で一度は子どもが親から離れますが、心はいずれ必ず親の元に戻ってきます。だから、小さい頃からいっしょに愛情を注いであげてください。」

これは、家庭教育支援検討委員会の委員である県立大学短期大学部教授の漁田俊子先生が、PTA対象の家庭教育講演会で語り掛けた言葉です。

家族が触れ合い、一緒に時間を過ごすことで、子どもは愛情を感じてすくすく育ちます。家族と一緒にいる時間をできるだけたくさん取りたいものです。

遊びひたる

普段の生活が大切

地域のイベントや行事に家族で参加するのも楽しいですが、特別なことをしなくても、普段の生活の中に、家族の絆を深める機会はいくらでもあります。

こんな時間を過ごしてみたいかがでしょうか。

家族みんなで会話をしながら食事をしたり、近所を散歩しながら、体力づくりをしたりする。あるいは、家族みんなで協力して食事を作る。近くの公園や広場に行き、一緒に遊具で遊んだり、スポーツをしたりして、さわやかな汗を流すのもいいでしょう。

強調月間では、いつもはできないこと、できていてもなかなか時間がかけられないことに、家族の絆を意識して取り組んでみてはいかがでしょうか。一緒に過ごした時間は、この先ずっと、大切な思い出として残っていくはずですよ。

遊びひたる

月に一度は「家庭の日」!

県では、月に1回以上、家族で「家庭の日」を設けることを呼び掛けています。「家庭の日」とは、家族と一緒に過ごし、絆を深めるための日のことです。強調月間に限らず、それぞれの御家庭に合った「家庭の日」を自由に考え、過ごし方を工夫してみてください。

遊びひたる

子どもの心は戻ってくる

「思春期で一度は子どもが親から離れますが、心はいずれ必ず親の元に戻ってきます。だから、小さい頃からいっしょに愛情を注いであげてください。」

これは、家庭教育支援検討委員会の委員である県立大学短期大学部教授の漁田俊子先生が、PTA対象の家庭教育講演会で語り掛けた言葉です。

家族が触れ合い、一緒に時間を過ごすことで、子どもは愛情を感じてすくすく育ちます。家族と一緒にいる時間をできるだけたくさん取りたいものです。

遊びひたる

普段の生活が大切

地域のイベントや行事に家族で参加するのも楽しいですが、特別なことをしなくても、普段の生活の中に、家族の絆を深める機会はいくらでもあります。

こんな時間を過ごしてみたいかがでしょうか。

家族みんなで会話をしながら食事をしたり、近所を散歩しながら、体力づくりをしたりする。あるいは、家族みんなで協力して食事を作る。近くの公園や広場に行き、一緒に遊具で遊んだり、スポーツをしたりして、さわやかな汗を流すのもいいでしょう。

強調月間では、いつもはできないこと、できていてもなかなか時間がかけられないことに、家族の絆を意識して取り組んでみてはいかがでしょうか。一緒に過ごした時間は、この先ずっと、大切な思い出として残っていくはずですよ。

教育という職の素晴らしさ vol.5

教職について思う

下田市立白浜小学校 教諭 磯崎史裕



私は50代半ばを過ぎた小学校教諭です。体力の衰へは隠せませんが、大病もせず健康に過ごしてきました。

私の指導

子どもたちの目の輝きはとても素敵で、何か新しいことが出来たとき、こちらの心も満たされま

自然に触れ子ども

この十数年は、友人の影響で始めた野鳥観察も生かすようにしています。友人はセグロセキレイとハクセキレイの違いを教

今日も学校へ

子どもたちのためにかれと思つてやっていますが、伝わらないこともあります。本当に子どもたちのためになっているのか、心を傷付けているのではないかと迷う夜もあります。しかし、色々あ

今日も学校へ

子どもたちのためにかれと思つてやっていますが、伝わらないこともあります。本当に子どもたちのためになっているのか、心を傷付けているのではないかと迷う夜もあります。しかし、色々あ

今日も学校へ

子どもたちのためにかれと思つてやっていますが、伝わらないこともあります。本当に子どもたちのためになっているのか、心を傷付けているのではないかと迷う夜もあります。しかし、色々あ

今日も学校へ

子どもたちのためにかれと思つてやっていますが、伝わらないこともあります。本当に子どもたちのためになっているのか、心を傷付けているのではないかと迷う夜もあります。しかし、色々あ

今日も学校へ

子どもたちのためにかれと思つてやっていますが、伝わらないこともあります。本当に子どもたちのためになっているのか、心を傷付けているのではないかと迷う夜もあります。しかし、色々あ

今日も学校へ

子どもたちのためにかれと思つてやっていますが、伝わらないこともあります。本当に子どもたちのためになっているのか、心を傷付けているのではないかと迷う夜もあります。しかし、色々あ

小学校の教諭は、子どもたちにいつしか忘れ去られていくことが多いと思います。しかし、学ぶべきことをしっかりと教え、子どもたちの可能性を広げていくという大切な役割を果たしているという

私の指導

子どもたちの目の輝きはとても素敵で、何か新しいことが出来たとき、こちらの心も満たされま

自然に触れ子ども

この十数年は、友人の影響で始めた野鳥観察も生かすようにしています。友人はセグロセキレイとハクセキレイの違いを教

今日も学校へ

子どもたちのためにかれと思つてやっていますが、伝わらないこともあります。本当に子どもたちのためになっているのか、心を傷付けているのではないかと迷う夜もあります。しかし、色々あ

今日も学校へ

子どもたちのためにかれと思つてやっていますが、伝わらないこともあります。本当に子どもたちのためになっているのか、心を傷付けているのではないかと迷う夜もあります。しかし、色々あ

今日も学校へ

子どもたちのためにかれと思つてやっていますが、伝わらないこともあります。本当に子どもたちのためになっているのか、心を傷付けているのではないかと迷う夜もあります。しかし、色々あ

今日も学校へ

子どもたちのためにかれと思つてやっていますが、伝わらないこともあります。本当に子どもたちのためになっているのか、心を傷付けているのではないかと迷う夜もあります。しかし、色々あ

今日も学校へ

子どもたちのためにかれと思つてやっていますが、伝わらないこともあります。本当に子どもたちのためになっているのか、心を傷付けているのではないかと迷う夜もあります。しかし、色々あ

今日も学校へ

子どもたちのためにかれと思つてやっていますが、伝わらないこともあります。本当に子どもたちのためになっているのか、心を傷付けているのではないかと迷う夜もあります。しかし、色々あ

誰もがスポーツプログラマー 注目! 「体づくり運動」

学習指導要領の改訂で授業改善が特に求められるのは、「体づくり運動」です。これまで小学校5年生から行う領域でしたが、今回の改訂で小学校1年生から高校卒業までの全ての学年で必修となりました。

私たち大人が子どもだった時代には経験のない運動ですから、イメージが湧きにくいのも当然です。しかし、この「体づくり運動」こそ、現代の子どもたちの課題である、体力の低下や運動する子としない子の二極化に歯止めを掛ける「カギ」となる領域なのです。

発達段階を押さえた指導

「体づくり運動」の中の「体力を高める運動」に絞って、学習のポイントを整理しました。

小学校低学年から中学年は神経系の発達が著しいゴールデンエイジと言われる年代です。この時期には、児童が夢中になつて楽しく運動できる環境を整えることが大切です。基本的な動きを身に付け、動きのレパートリーを増やすことを目指し

ます。ここで育まれた動きは、様々な運動につながる「動きの素」となります。

高学年から中学校1・2年生にかけては、これまでに学習した運動を組み合わせて実生活などで生かす計画を立て、自己の体力を高めるためのねらいを持って運動することを中心とします。

中学校3年生から高校生では、日常的に取り組める運動例から計画を立てて運動に取り組みます。「高校を卒業したら運動不足になっちゃうな!」10分のジョギングで6メッツ(身体活動の強度を表す単位)だから、これなら毎日続けられそう」というように、健康や体力向上等の目的に応じた運動の習慣化につなげることが大切です。

体力は「生きる力」の源

「体づくり運動」の授業では、友達と一緒に体を動かすことの楽しさや喜びを十分に味わった結果として、体力の向上が図られることが期待されています。

健康寿命、全国第1位となった静岡県で、子どもたちが「体づくり運動」の授業の充実により、自分の体への関心を更に高め、生涯にわたって豊かなスポーツライフを送ることができるよう願っています。

【授業づくり支援講座支援1班

犯罪被害者等支援講演会 inしずおか2012

犯罪により家族を失った方の想いに耳を傾け、「犯罪被害者支援」について、一緒に考えてみませんか?

◆日時 11月25日(日) 13時~16時
◆場所 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」大ホール

◆内容
第1部 講演会
○演題 「被害者支援の原点に戻って」
~私たちが望んだ支援
私たちが受けた支援~
○講師 大阪教育大学附属池田小学校
事件遭族 酒井 肇さん

第2部 演奏会
○静岡レディスコーラス
○静岡県警察音楽隊

◆申込み 静岡市コールセンター
☎054(200)4849 8時~20時 年中無休
※参加無料

◆受付期間 10月25日(木)~11月24日(土)
※定員350人になり次第締切り。

問 NPO法人静岡犯罪被害者支援センター
事務局 ☎054(651)1021

環境教育・環境学習に関する相談にのります

環境教育の応援団 ~静岡県環境学習コーディネーター 宮津 泰さん~

県と県教育委員会では、様々な環境分野で活躍する18人の方を環境学習コーディネーターに登録し、皆さんからの環境学習に関する相談に応じています。今回は、県西部地域で、子どもたちを対象に環境学習の支援・指導を続けている宮津 泰さんを紹介いたします。



発見や感動を大切にしています

自然の素晴らしさや大切さを伝えたい

私の子どもの頃は、日々の生活が自然体験と表裏一体で、食・燃料・水など全てが自然の恵みでありました。自然との一体感の中で育ち、時には、苦しみ、喜び、恐ろしさの体験もありましたが、60歳も後半を迎えた今でも、体験したことは、一瞬にして当時の感覚に立ち返ることができます。振り返ってみれば、自然は、リセットの場、安らぎや癒しの場として人生を豊かに支えてくれました。シニア世代になって、私自身の自然に対する感覚や思いを、次の世代に伝えるため、様々な自然啓発活動に携わっています。

学校の授業で外部講師もやっています

浜松市内の小中学校において、「自然とのふれあい」をテーマにした生活科の授業の外部講師を務めています。また、学校と協働で樹木名板を作り、子どもたちと樹木に親しみながら、26校で校庭の樹木に560枚の名板を取り付ける活動を行ったり、地球温暖化防止活動として、「緑のカーテン」作りの指導なども行ったりしてきました。

知識だけでなく、五感を使った実体験

「子どもたちは、人工物に囲まれた毎日の生活が自然とは無関係だと思っていないだろうか」という言葉を指導員仲間から聞くことがあり、私も「子どもたちは、知識はあるけれど体験が足りないのではないだろうか」と感じることもあります。

短い授業時間の中に体験活動を盛り込むことは難しいことですが、先生方には、バーチャル(想像や代替物)ではなく、本物に触れたり、実際に体験することで自分自身が皮膚感覚で「感じる」体験を大切に、子どもたちの感性を磨きキッカケづくりをたくさんしてほしいと思います。相談は無料です。環境学習コーディネーターは、環境学習に関する地域情報(外部講師、フィールド、学習プログラムなど)をたくさん保有しています。楽しい授業づくりのためにもお気軽に御相談ください。



校庭での樹木観察

新着図書チェック! のススメ

県立中央図書館では、市町立図書館では入らないような専門書や高価な本も受入れをしています。図書館員が選書した信頼性の高い本が中心なので新着棚を見るだけでも各分野の最新の動向が感じ取れます。

閲覧室の自動ドアを入ると左手前方面に見えるのが、新着図書コーナーです。記載台の奥の新着図書という棚と、特集展架の隣にある新着図書②という棚には、最新着の本と、それより一回前に入ってきた本が並べられています。

新刊はすぐに棚に並ぶの? 残念ながら書店のように、出版後すぐに御提供できるわけではありません。データ整理、バーコード貼付など、棚に並べるまでの準備に2か月程度かかることもあります。

図書館に行かなくても新着図書を手チェックできるの? 当館HPで新着図書の情報を御覧いただくや過去2か月間に受け入れた資料を手チェックすることができます。

また、メールアドレス配信の登録をしておけば、希望のジャンルの新着情報を月に2回(第2・4金曜日)受け取ることもできます。メールアドレスの登録は左記からできます。

読書に最適な季節、是非当館の新着図書を手チェックしてみてください。

EDITOR

「E」は「編集」の略です。本誌の編集は、毎月15日頃までに、編集長から編集者へ、編集者からライターへ、ライターから編集者へ、編集者から編集長へという流れで行われます。また、編集者からライターへ、ライターから編集者へという流れで行われます。また、編集者からライターへ、ライターから編集者へという流れで行われます。

新着図書はいつ入るの?

新着図書は月に1・2回の頻度が入ってきます。新着図書を棚に準備し始めると、早くも利用者さんが棚の周囲に集まり、本が並び終

メルマガ登録

【国語の先生必見! 日本を代表する詩人がこのために創作、朗読する貴重な機会です】 GRANSHIP

2012年しずおか連詩の会

11月18日(日) 14:00~ グランシップ11階 会議ホール・風

昨今各地で熱いブームが起こっている「連詩」。グランシップでは1999年から毎年開催し、今年で13回を迎えます。現代詩のトップランナー5人の詩人が3日間の創作期間を経て、出来上がったばかりの作品を披露。詩人本人の朗読と解説は毎年大好評です。

詩人が学校へ向いて子どもたちと一緒に連詩を創るアウトリーチ事業も大人気の企画です。

参加詩人:野村喜和夫、平田俊子、覚和歌子、ジェフリー・アングルス、杉本真維子

参加料:500円 ※事前申込制 申込先:グランシップチケットセンター
TEL.054-289-9000 FAX.054-203-5716 E-mail.info@granship.or.jp
FAX、E-mailの方は、住所・氏名・電話番号・参加人数を明記してください。
主催:(財)静岡県文化財団・静岡県 監修:大同 信



昨年の様子